



☆ 入賞おめでとう

伊藤広志	日本カメラ誌	7月号	カラープリントの部	銅賞	幸せです
伊藤広志	サロン・ド・ニコール	第193回	モノクロームの部	三席	お盆の頃
高橋一郎	日本カメラ誌	7月号	カラープリントの部	銀賞	地藏盆の宵
高橋一郎	サロン・ド・ニコール	第193回	カラーの部	二席	梅雨の晴れ間
岩城 治	フォトコン誌	7月号	モノクロ招待席	入選	日光浴
岩城 治	サロン・ド・ニコール	第193回	モノクロームの部	三席	盆梅列車
野呂 彰	日本カメラ誌	7月号	カラープリントの部	金賞	家族
野呂 彰	日本カメラ誌	7月号	モノクロプリントの部	銅賞	アッ! あぶない
水荃 競	サロン・ド・ニコール	第193回	カラーの部	佳作	境内
水荃 競	キャノンサークル	7月号	カラー	佳作	視線
高田敏雄	サロン・ド・ニコール	第193回	カラーの部	佳作	海女
高田敏雄	アサヒカメラ誌	8月号	カラープリントの部	4位	花火の日
西田隆雄	キャノンサークル	7月号	モノクロ	佳作	見入る

☆ 入賞作品から☆



日本カメラ誌 5月号 モノクロプリントの部
金賞 「のらに生きる」 野呂 彰



日本カメラ誌 5月号 カラープリントの部
金賞 | 息子 | 井上修一 | 枚方・42歳 |

ニコンD90・AF35ミリ・絞りF2.5・AE・キャノン写真用紙光沢プロ
フェッショナル・キャノンPIXUS Pro9000 (写団くらねこ)

評 これがなぜ金賞になったのか。ほかの応募作品と比べてどこがどう風に見えるのか、はっきり言葉にできないが、明らかにこの写真が持っている魅力というのがある。この写真のみに漂っているのか分からないが、「息子」が写っているのではなく、少年自身が持つ初々しさ、洒落たセンスが写っていて、それが見ている人に届く。それは少年時代に持っていたい、ひとつの理想的な感覚というか、一瞬、

写真だけが捉えることができた感覚というか。純粹なものに感じた。実際に少年に会っても、こういう風に受け止めて捉えられないと思う。上半身の動きだけが止まっていて、あとがブレているが、井上さんが無意識に少年の動きに合わせてシャッターを切った感じがする。うまい具合にブレた。何かをこちらに向かって言いかけているようなこの姿がすごくいい。ひとえに少年の魅力に尽きる。

撮影ガイド

- 5/20(日) ツアー・オブ・ジャパン堺ステージ
- 5/23(水) 杭全神社田村祭り(JR平野駅)
- 5/27(日) 八日市大風まつり
- 6/14(木) お田植え神事、住吉大社
- 6/30~ 愛染祭り、天王寺、勝まん寺
- 7/11(水) しろんご祭り

★ 撮影会のお知らせ

5月20日(日) 神戸まつり 各自現地撮影
長尾 → 尼崎 → 三ノ宮
8:57(区間快速) 9:51(新快速) 10:07

5月26(土)27日 帝塚山音楽祭 各自現地撮影
長尾 → 京橋(環状線) → 天王寺駅前(阪堺電車) → 帝塚山3丁目
8:57(区間快速) 9:32、 9:54 10:04 下車